

事務事業 No./名称	■サービス部門 □支援部門				防安-02 かけ地対策事業		タイムスコア及び個別事業名		
	主管課	総合防災課		関連課		268	急傾斜地崩壊対策事業		
分野名	地域安全				269	急傾斜地防災工事負担事業			
目標 (目標値)	安全で快適な生活が送れるまち 災害に強い安心して暮らせるまちをめざします				270	既成宅地等防災工事助成事業			
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考					
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状況	決算値	148,947千円	174,957千円						
	(国・県)								
	(負担金等)	2,961千円	3,537千円						
	(一般財源)	145,986千円	171,420千円						
	人員配置数	3.5人	2.5人						
	人件費	33,176千円	23657千円						
協働の パートナー					指標と評価				
事務事業 運営経費	総事業費	182,123千円	198,614千円	指標		急傾斜地指定箇所数			
	市民1人当 りの経費	1,030円	1,125円	評価		○			
	対象者1人 当りの経費			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退					
					目標値	実績値			
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	横浜市	川崎市	横須賀市	平塚市	鎌倉市	20年度	100箇所	86箇所
	急傾斜指定数	634	85	395	5	88	21年度	100箇所	88箇所
	着工	600	82	360	4	88	22年度	100箇所	
	概成	556	78	279	3	63	23年度	100箇所	
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) (1)急傾斜地防災工事負担事業は市の予算が限られており、事業の進捗が遅れている。 (2)既成宅地等防災工事助成事業は、災害の発生状況により申請件数が変動する。災害が起こると 申請件数が増加するため、予算が不足し対応できなくなる。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) (1)急傾斜地防災工事負担事業は、市の予算を有効に利用するため市の負担割合の低い箇所(大 規模斜面)を中心に選定するよう神奈川県にお願いし、事業展開を図っている。 (2)既成宅地等防災工事助成事業は、当初の見込みより申請件数が減少したため、柔軟な予算対 応により防災工事の推進を図っている。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 急傾斜地防災工事負担事業で現在行っている負担金割合の低い箇所は今後減少傾向になるた め、必然的に市の事業費は増加することになる。また、景観に配慮した工夫をお願いしているが、急 傾斜地の条件で出来ない部分がある。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 限られた予算の中で、工夫しながら事業が進められるよう神奈川県にお願いしていく。							
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)				
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	本市は地域的特性から、がけ崩 れ、土砂崩れの危険箇所が多く存在 している。防災工事は市民の生命及 び財産を守るため重要な事業であ り、充実・拡充をしていく必要がある。			評価結果	改善の必要性	急傾斜地崩壊対策工事や市の既 成宅地等防災工事は市民の生命を 守ることに直結しているため、今後も 充実・拡大していく必要がある。		
A	無				A	無			
課長名		総合防災課長 郷原 一己			部名・部長名		防災安全部長 酒川 学		